

東京選手の活躍 パリ五輪5名 U20世界4名出場

東京都の中学校や高等学校で活躍した選手が世界に羽ばたき躍動しています

◇パリ2024オリンピック日本代表◇(8/1～11)

○サニブラウン アブデルハキーム選手(城西大城西中・高卒業 東レ)

100m 4x100mR(第5位入賞)〈2回連続出場〉

○中島佑気ジョセフ選手(立川一中・城西大城西高卒業 富士通)

400m 4x400mR(第6位入賞)〈2大会連続出場〉

○豊田 兼選手(桐朋中・高卒業 慶應大学)

400mH

○橋岡優輝選手(八王子学園八王子高卒業 富士通)

走幅跳〈2大会連続出場〉

○大迫 傑選手(町田市立金井中卒業 Nike)

マラソン〈2大会連続出場〉

◇リマ2024U20世界陸上競技選手権大会日本代表◇(8/27～31)

○吉澤登吾選手(桐朋中卒業 桐朋高) 800m

○寺田向希選手(立川五中・國學院久我山高卒業 中央大学)1500m

○高橋 諒選手(桐朋中・高卒業 慶應大学) 十種競技

○鈴木美海選手(順天高校卒業 筑波大学) 3000m 決勝進出

日本選手権/U20日本選手権(混成6/22.23 本大会6/27～30)

多くの東京都在学、また出身者がパリやリマを目指して出場していました。大会は新潟で行われた本大会に先だって混成は岐阜で開催されました。多くの東京都出身が出場し、混成ではU20が男女とも東京選手が優勝し、合計4名の東京選手が入賞をし、本大会では6名の優勝者を含む30名の選手が今大会で入賞しました。

優勝した選手の皆さん

U20日本選手権大会

○吉澤登吾選手(桐朋高校) 800m

○高橋 諒選手(慶應大学) 十種競技

○森崎優希選手(八王子六中・明星学園卒業 日本女子体育大学) 走高跳

○下元香凜選手(御堂中・白梅学園高卒業 東京学芸大学)七種競技

日本選手権大会

○中島佑気ジョセフ選手(富士通)400m

○豊田 兼選手(慶應大学)400mH

○橋岡優輝選手(富士通) 走幅跳

○高橋 渚選手(練馬区立北町中・東京高校卒業 センコー) 走高跳

東京選手の活躍 第78回SAGA国民スポーツ大会



今大会は、期間中晴天に恵まれ、短距離を中心に多くの好記録が誕生しました。東京都選手団は天皇盃・皇后盃優勝をめざして戦いですが、天皇盃8位、皇后盃7位の最終結果となりました。選手の皆さんはベストを尽くして競技に臨み、自己記録を更新した選手も3割を超えました。個人優勝は少年女子B円盤投で中学生の平井心選手(武蔵野東中)が高校生の壁を打ち破り、見事表彰台の頂点に立ちました。大会を終え、スタッフ・選手一同、滋賀に向け気持ちを新たに帰路につきました。



写真
 上 左 選手団 右男女キャプテン 飯田選手木村選手
 【上位入賞(3位までの皆さん)】
 中 左から 平井選手 益子選手 森崎選手 濱選手 門田選手
 下 左から 仮屋選手 宮坂選手

第78回 国民スポーツ大会(SAGA2024) 結果報告 (令和6年10月11日～15日) 於:SAGAスタジアム

NO	種別	種目	氏名	所属	予選		準決勝		決勝		得点	備考
					順位	記録	順位	記録	順位	記録		
1	成年	100m	神戸 毅裕	明治大2	1	10"29(-0.8)	3	10"45(-1.5)	×	—	0	
2		300m	木村 颯太	フォルテスポーツ	1	32"64	→	→	4	32"54	5	自己新
3		400mH	金本 昌樹	早稲田大4	3	49"83	→	→	7	50"23	2	
4	少年A	100m	濱 椋太郎	目黒日大高3	1	10"53(-2.1)	1	10"11(+3.1)	2	10"46(-1.6)	7	
5		300m	小澤 耀平	城西高2	1	33"26	→	→	8	33"94	1	
6		300mH	堤 陸透	駒大高3	4	38"05	→	×	×	—	8	
7		走幅跳	宮坂 玲皇	岩倉高3	→	→	→	3	7m51(+1.0)	6		
8	少年B	100m	萩原 悠海	明大中野高1	3	10"77(0.2)	5	10"70(+1.3)	×	—	0	自己新
9		3000m	岡 太喜	城西高1	5	8'32"59	→	→	6	8'25"05	3	自己新
10		110mJH	門田 拓磨	東京高1	2	14"18(-0.8)	→	→	2	13"86(+1.6)	7	自己新
11		走幅跳	奥澤 雄音	八王子高1	→	→	→	18	6m61(+0.1)	0		
12		円盤投	原 裕斗	八王子二中3	→	→	→	18	39m98	0		
13	少年共	走高跳	清水 怜修	明星学園高1	→	→	×	×	NM	0		
1	成年	100m	飯田 光咲	東京女子体育大3	2	11"81(+1.9)	6	11"94(+0.3)	×	—	0	
2		300m	飯田 景子	中央大3	4	38"98	→	→	×	—	0	自己新
3		800m	北村 夢	エディオン	4	2'09"43	→	→	×	—	0	
4		400mH	益子 芽里	中央大3	1	57"59	→	→	2	57"33	7	自己新
5		走高跳	森崎 優希	日本女子体育大1	→	→	→	2タイ	1m76	6.5		
6		橋高跳	小林 美月	日本体育大2	→	→	→	11	3m80	0		
7		走幅跳	乙津 美月	日本女子体育大3	→	→	→	9	5m82(+1.7)	0		
8	少女A	100m	松田 洵	慶應女高2	5	12"23(0.0)	8	12"23(+1.5)	×	—	0	
9		300m	ケリー 瑛梨花	東京高2	2	39"68	→	→	×	—	0	自己タイ
10		100mH	仮屋 愛保	東京高3	1	13"57(+0.4)	→	→	2	13"50(+1.0)	7	
11	少女B	100m	石井 美泉奈	いたてん	6	12"60(-1.0)	×	×	×	—	0	
12		100mYH	廣田 ひかり	東京高1	4	13"92(-1.0)	→	→	4	13"55(0.0)	5	自己新
13		円盤投	平井 心	武蔵野東中3	→	→	→	1	39m68	8	自己新	
14	少年共	走高跳	手島 花奈	明星学園高3	→	→	×	×	NM	0		
15		走幅跳	近藤 いあん	城西高3	→	→	→	6	5m93(+2.8)	3		
16	成年共	4×100mR	※田中 ヴェニツァー 補欠	甲南大1	→	→	→	→	→	→	→	
1	成年共	男子4×100mR	木村・神戸・萩原	1	39"65	3	39"70	5	39"66	4		
2	成年共	女子4×100mR	石井・祝田・松田・飯田光	3	46"16	4	45"72	×	—	0		
3	成年共	混合4×400mR	小澤・ケリー・金本・飯田景	6	3'29"52	→	→	×	—	0		

天候 [12時(15日は10時)時点]	優勝 1	種別得点 (男)	成年	7
日 天候 最高気温 湿度	得点		大会新 1	少年A
11日 晴 25.5℃ 47%	0点	自己新 7	少年B	10
12日 晴 26.0℃ 39%	16点	自己タイ 1	共通	0
13日 晴 26.0℃ 48%	38点		成年	135
14日 曇 26.0℃ 62%	14.5点		少年A	7
15日 晴 24.0℃ 79%	3点		少年B	13
			共通	3
			リレー	4
			審判員得点	10
			合計	81.5

天皇杯 8位 81.5点
皇后杯 7位 36.5点

東京選手の活躍 小学生

第13回東日本都道府県小学生交流大会(8/3 函館)

日清カップ東京都派遣され、時折雨が通り過ぎるとも北海道とは思えない蒸し暑さの中、他県の小学生と交流を兼ねながらも、みな生き生きとした活躍をし、気持ちの良い汗を流していました。

足跡(種目別)・・・(100m以外は6年生が出場)

小学生陸上競技交流大会で選出された男女7名、計14名の選手が100m

5年稲村礼人くん(スポーツマジック)2位13”51 6年西 旺真くん(ゆめおりAC)優勝12”20

6年金坂水翔くん(清新JAC)6位 12”98 6年千保聡太くん(清新JAC)予選13”91

5年新井心唯さん(KIZUNZ TOKYO)2位14”30 5年篠原玲華さん(清新JAC)6位14”96

6年佐藤サラさん(杉並jr陸上クラブ)6位14”01 6年石橋優珠香さん(清新JAC)予選14”67

80mハードル

矢延康太くん(Inter sea)5位 14”13 佐藤莉緒さん(ファンアントランAC)3位13”98

1500m

野寄航世くん(TOWLAPS)13位 5’00”26 栗林美帆さん(清新JAC)3位 4’59”99

草薙璃莉さん(いだてんクラブ)7位 5’14”56

走高跳

矢延康太くん(Inter sea)3位 1m35 佐藤莉緒さん(ファンアントランAC)5位 1m20

走幅跳

松下 葵くん(ゆめおりAC)5位4m44

松尾羅央さん(スポーツマジック)12位3m88

ジャベリックボール

松下 葵くん(ゆめおりAC)2位54m68

松尾羅央さん(スポーツマジック)2位 42m15

混合リレー 清新JACチーム

3位 53”90

篠原さん千保くん石橋さん金坂くん



日清食品カップ 第40回全国小学生陸上競技交流大会(9/22国立)

実に14年ぶりに東京国立競技場に戻ってきた大会でした。今回、優勝1・準優勝1・入賞2の、全9種目中4種目で入賞する活躍をしました。入賞にまでは届かなかった選手の皆さんも、国立競技場での競技を精一杯楽しんでいました。

頑張った皆さん・・・

優勝 男子6年100m 西 旺真くん(ゆめおりAC) 11”95

準優勝 男子コンバインド`A 堀籠優成くん(ゆめおりAC) 2324点

第4位 男子5年100m 稲村礼人くん(スポーツマジック) 13”04

第8位 女子5年100m 新井心唯さん(KIZUNA TOKYO) 13”95

女子6年100m佐藤サラさん(杉並jr陸上クラブ)13”82

男子コンバインド`B松下 葵くん(ゆめおりAC) 2157点

女子コンバインド`A小野詩織さん (KMC陸上クラブ)2099点

コンバインド`B松尾羅央さん(スポーツマジック)1090点

混合4X100mR 清新JACチーム C決勝6位 53””57

篠原さん 千保くん 石橋さん 金坂くん

友好100m 栗林美穂さん(清新JAC) 14”94

【コメント】

西 旺真くん(ゆめおりAC)写真上

東京都代表選考会を終えて、その後は、全国1位レベルのタイムを出すことを意識して練習を重ねてきました。全国大会当日は、体調も良く、勝てそうな気持ちでいましたが、予選前は緊張と不安がありました。予選は2位通過でしたが、決勝はワクワクした気持ちで挑めました。目標としていた、11秒台で全国1位になるという目標を達成できたので、本当に嬉しかったです。

堀籠 優成くん(ゆめおりAC)写真下

前日の練習では、少し調子が悪く不安だったけれど、大会当日になるとハードルの調子が良くて、12秒48の自己ベストを出すことができました。走高跳では、練習跳躍で踏み切り位置が近くなってしまい、コーチから「1足長上げよう」とアドバイスをもらい、本番で修正することができました。自己ベストには届かなかったけど、思い切って跳ぶことができました。これからもいろいろな種目を練習してどの種目も自己ベストを出し、全国大会でまた上位に入れるようにしたいです。



【中学生】

◇第52回関東中学校陸上競技大会◇(8/7.8 東京駒沢)

昭和48年(1973年)に始まったこの大会は、関東8都県に新潟・長野を含めた10都県対抗で行われていました。地元開催となった今大会、東京都は昨年に続いて総合2連覇を果たしました。

◇第51回全日本中学校陸上競技選手権大会◇(8/17～20福井)

歴代最多の個人90名と男女のリレー選手の皆さんが9.98スタジアムに臨みました。男子砲丸投の優勝をはじめ計8種目で表彰台に上がりました。



◇U16 都道府県代表4X100mR◇(10/5.6東京国立)



男子は、100m10秒台、女子は歴代最高記録を有する1年生2名を揃えて出場した本大会では、男子が東京都新記録となる41"38で第3位に入賞しました。女子は1着でゴールをし、47"87の好記録でパンを繋ぎましたが、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

◇第55回U16陸上競技大会◇(10/18～20三重)中高生

8月に駒沢競技場で行われた都道府県代表と、ターゲットナンバー(出場人数枠)を突破した中学生と高校生の早生まれの選手が、伊勢神宮内宮の玄関口にある三重交通スポーツの杜伊勢に集いました。今大会では夏に行われた全日本中学陸上競技選手権大会に続き、八王子二中の原裕人選手(右)が砲丸投で、佐賀国民スポーツ大会に続いて武蔵野東中の平井心選手(左)が円盤投げに優勝しました。中学校1年生ながら、女子100mで5位に新井凜星選手(足立十四中)12"14、女子150mでパログン・イズミ選手(千住ジュニア)18"61が第8位に入賞し、会場を沸かせました。



【高校生】

◇令和6年度関東高等学校陸上競技大会◇(6/14～17東京駒沢)

中学校と同様に、東京開催となった関東大会では南関東11種目で優勝、60名を超える選手とリレー6チームが福岡開催のインターハイに駒を進めました。特筆すべきは男子100m・走高跳で1位から4位まで、男子三段跳、女子円盤投でワンツートと、上位を占め、層の厚さを示した種目が会場を沸かせました。総合争いは東京高校が男子優勝女子準優勝、城西大城西高校が男女とも5位となりました。

◇第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会◇(7/28～8/1福岡)

真夏の博多の森では3種目の優勝者を含む個人15種目、リレー種目の入賞を果たしました。

優勝した皆さん (写真は左から紹介)

○古賀ジェレミー選手(東京高) 110mH 13"59(日本高校新記録)

○宮坂玲皇選手(岩倉高) 走幅跳 7m44

○近藤いおん選手(城西大城西高) 走幅跳 6m11



◇第59回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会◇(8/13～15東京駒沢)

今年も駒沢オリンピック公園陸上競技場に集まった、全国の定時制通信制高校の選手の皆さんが、酷暑の中で熱い戦いを見せてくれました。東京都の選手は男女個人4種目と男子の4x400mR女子の4x100mRの6種目に優勝する活躍をし、男女総合では総合第3位となりました。今回、特筆すべきはNHK学園の鈴木結衣選手です。出場した3種目全てに優勝し、400mにおいては大会新記録で制覇をし最優秀選手賞(日本陸連会長賞)に輝きました。

優勝した皆さん

- 男子400mH 小林謙信選手(葛飾商業) 59"76 写真右
- 女子200m 青木幸香選手(NHK学園) 28"35 写真中
- 女子400m 鈴木結衣選手(NHK学園) 1'00"15(大会新記録) 写真左
- 女子800m 鈴木結衣選手(NHK学園) 2'19"32
- 男子4x400mR東京選抜チーム 3'33"68
深澤亮祐選手(NHK学園)小林謙信 選手(葛飾商業)
小林 卓選手(稔ヶ丘)(4)柿川 選手(NHK学園)
- 女子4 x 1 0 0 m R東京選抜チーム 52"90
富本 舞選手(星槎東京) 青木幸香選手(NHK学園)
黒田栞那選手(八王子拓真) 鈴木結衣選手(NHK学園)

【定時制通信制大会・東京都スタッフより】

今年の東京チームは、男女総合第3位、個人優勝4種目、リレー優勝2種目という好成績を収めることができました。とくに、3冠した鈴木結衣さん(NHK学園)の女子400mは44年ぶりの大会記録でした。来年は、総合優勝を目指しますので、今後とも、定通陸上をよろしくお願ひします。



◇第32回日・韓・中ジュニア交流競技会◇(8/27.28韓国)

全国高校総体の結果を受け4名の選手が醴泉スタジアムで行われた大会に日本代表として2試合に出場しました。

- 濱椋太郎選手(目黒日大高)100m 2大会優勝 4x100mR 1試合優勝
- 宮坂玲皇選手(岩倉高)走幅跳 2大会準優勝
- 大神田秀人選手(都立立新田高)三段跳 2位3位入賞
- 近藤いおん選手(城西大城西高)走幅跳 2大会優勝

◇第18回U18陸上競技大会◇(10/18～20三重)

U16大会と並行して行われたU18大会では、2名の優勝者を含む9名が入賞しました。全国高校総体に続いて優勝した古賀ジェレミー選手(東京高)は、惜しくも日本記録には届かなかったものの、大会新記録でゴールしました。

優勝した皆さんの紹介

- 男子110mJH 古賀ジェレミー選手
(東京高)13"41(大会新記録)
- 男子円盤投 福宮佳潤選手(東京高)48m52
(右写真 全国初優勝 福宮選手)



第39回東日本女子駅伝

1985年から始まった今大会は、「最後のタスキは未来につなげ」を合い言葉に開催され、40年にわたる歴史に幕を下ろしました。

東京都チームは3連覇を目指し、大会に臨みましたが、第3位という結果となりました。アンカーに東京出身の阪口選手(ベアーズ・赤羽岩淵中・錦城学園高卒)を配置し、粘り強いレース運びをしました。

【監督コメント】 中村孝生 常務理事

40年の永きにわたり、大会開催にご尽力されてきた福島陸上競技協会をはじめ、東北陸上競技協会、福島テレビ、関係諸団体の皆さまの心より御礼申し上げます。

第39回東日本女子駅伝大会が最後になるということで3連覇を目標に、一丸となって勝負をかけましたが、思いが届かず3位という結果に終わりました。選手全員が自分の力を尽くして、タスキを繋ぎました。選手と支えてくださったスタッフ・コーチ・顧問の皆さまにも感謝いたします。

また、東京でテレビを通して応援してくださいました皆さまにも御礼申し上げます。

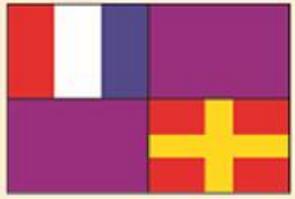
2024年11月10日 12:03スタート

福島市の誠電社WINDYスタジアム=9区間、42.195キロ

【東京チーム成績】

区間	距離	順位	区間順位	氏名(所属)	タイム
1区	(6.0キロ)	11位	区間11位	白井 瑠花(都立上水高)	19'20"
2区	(4.0キロ)	6位	区間 5位	道下 美槻(積水化学)	13'10"
3区	(3.0キロ)	7位	区間10位	廣田 百世(ベアーズ)	10'23"
4区	(3.0キロ)	5位	区間 5位	水野 伶美(板橋一中)	9'54"
5区	(5.0875キロ)	3位	区間 4位	鈴木 美海(筑波大)	16'53"
6区	(4.1075キロ)	6位	区間11位	野口 麻衣子(駒大高)	13'42"
7区	(4.0キロ)	7位	区間 9位	大木 心夏(明星高)	13'54"
8区	(3.0キロ)	5位	区間 3位	坂田 杏(平井中)	9'40"
9区	(10.0キロ)	3位	区間 3位	坂口 愛和 (ベアーズ)	32'56"





飛翔

飛翔が新しくなりました!

File No006

発行人：下山良成
発行所：公益財団法人東京陸上競技協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-7 秋穂セントラビル1階
電話03-6261-5280 FAX03-6261-5283
HP <http://www.toriku.or.jp>

東京陸協の動向

◆2024年08月22日（木） 第61回理事会開催◆

会場 東京陸上競技協会 会議室

出席者（理事） 23名 欠席者3名

【議題】

- 第61-1号議案 SAGA2024国民スポーツ大会代表選手選考について
- 第61-2号議案 第13回東日本都道府県小学生陸上競技交流大会及び“日清食品カップ”第40回全国小学生陸上競技交流大会代表選手選考について
- 第61-3号議案 新規加入団体の承認について

【報告事項】

1. 理事長、副理事長、常務理事の職務執行報告
2. 加入団体意見交換会開催について
3. 賛助会員名簿について
4. 中長期計画、危機管理マニュアル(草案)について
5. その他

◆2024年10月04日（金） 常務理事会開催◆

会場 東京陸上競技協会 会議室

出席者（常務理事） 7名

【議題】

1. 上期事業報告及び事業別中間決算について
2. 東京2025世界陸上における競技役員を選出について
3. 東京2025世界陸上に関する準備体制について
4. 加入団体懇談会 進捗状況について

東京陸協の動向

【加入団体懇談会開催のご報告】

下記の要領にて理事長以下東京陸協役員15名と加入団体との懇談会が数年ぶりに開催されました。

日時:2024年10月21日(月) 18:30

場所:東京体育館 第一会議室

参加者団体・参加者名<順不同・敬称略>

◎足立区陸協・辻野 清/あきる野市陸技・石川英次
昭島市陸協・海口賢治/KIZUNA TOKYO・三田 翔平
Inter SEA・菊地将吾/NR多摩・相模・萩谷正紀
AC・KITA・土田政志/(株)オリエンコーポレーション・栢野勇一郎
江戸川区陸協・下井悟/大田区陸協・平塚宣信
青梅市陸協・武村 亨/NEC府中・大須田祐一郎
葛飾区陸協・渥美孝之/北町陸上クラブ・相川智樹
きらぼし銀行陸上部・小川俊哉/アスレコム・岡田 晃
国立市陸協・柳田光昭/警視庁陸上クラブ・高沼正利
KMC陸上クラブ・川口博正/江東JAC・小栗歩
江東区陸協・児玉聡/新宿区陸協・石郷岡範昭
東京ランニングクラブ・佐藤正美/豊島陸協・久保岡佳正

渋谷陸協・佐野豪一/杉並区陸協・大串裕子/杉並アスレチッククラブ・小野 久
杉並Jr.陸上クラブ・伊藤君代/世田谷私学陸上クラブ・小西泰/調布陸協・北山栄造
千代田区陸協・武 貴志/田園クラブ・岡田真晴/東京ドリーム・南大介/ゆめおりAC・金子 信
東京AC・秋田陽一/東京電力陸上部・山口広史/東京マスタース陸上競技連盟・下田智
西東京市陸協・齋藤 実/日本学連クラブ・河野 匠/八王子市陸協・古田文雄
日野市陸協・関 隆史/八王子市役所陸上競技部・海津淳/福生市陸協・富田正見
文京区陸協・播磨良和/府中市陸協・黒田勇一/町田市陸協・増澤英雄/立川市陸協・横田邦夫
港区陸協・中村信也/港陸上クラブ・山田武志/武蔵野市陸協・藤見清治
メイスワーク(株)陸上競技部・小林 雄一/森ビル(株)ランニングクラブ・秋山太陽
明治大学紫交会・田村厚/ファンアトランAC・福田 太郎/東京ラビッツ・中村紗奈江 計55名



◎下記の事項につきまして下山理事長を中心に報告がありました。

報告事項(要旨抜粋)

(1)東京陸協 中長期計画について

東京陸上競技協会の進化と発展の5年間とするための計画を策定。

(2)危機管理ガイドラインについて

東京陸上競技協会内におけるガバナンスコードの徹底と、将来起きうるあらゆる事案、または起きてしまった事故等に対する効果的な対処と対応、そしてその準備として、また大会やイベント開催時での選手・指導者・審判員・観客のリスクマネジメント、自然災害・事故・事件発生時・感染症発生時の適切な判断と対応に取り組むために策定。

(3)東京2025世界陸上競技選手権大会に向けての本協会における対応について

東京2025世界陸上財団からは未だ具体的な要請が参っていない状況に変わりはありませんが、今後「主に練習場やマラソン・競歩競技の運営を中心に担う役割を東京陸協所属の審判員に」等の打診がある時の準備として審判員資格を保有する東京陸協の会員の皆様向けに事前意向調査を実施致します。調査対象は2022年度、2023年度、2024年度に審判講習会を受講された審判の方々としております。



ボランティア・コラボレーターのユニフォーム
←

(4)指導者資格制度について

2025年度から、日本陸上競技連盟(以下、日本陸連)の団体登録において、小中学生が登録メンバーとして在籍するクラブチームの団体登録条件に、会員の中に公認コーチ資格を有する方(以下、有資格者)が在籍していることが必須となります。

そのため、今年度中にメンバーの方が資格取得に向け、コーチ養成講習会の受講をしていただきますようお願いします。

(5)質疑応答

多くのご意見等いただきました。2025年度に向けて改善していきたいと考えております。



陸上競技を愛する皆さんとともに成長します！

「危機管理ガイドライン第1次」

「中長期計画 第1次」を策定しました

公益財団法人東京陸上競技協会として、今後どのような対応が必要なのか、どのように成長していくべきなのかを考え、第1次案を発表しました。

今後、必要に応じて検討を重ね、新たな内容に更新をしていきます。

ジュニアの大会でトップアスリートに表彰式のプレゼンターを！

8月からジュニアの大会のプレゼンターにトップアスリートをお願いしています。子どもたちが夢を持って競技を続けていけるように、一緒に写真を撮ったり、サインをしてもらいながら表彰式に参加しています。



今までに表彰して頂いたアスリートの皆さん(右から)

- 横田真人さん(TWOLAPS代表)北京五輪・世界陸上代表・800m元日本記録 東京出身
- 君野貴弘さん(東工大附高教員)ソウル世界ジュニア3位・元日本記録・U20日本記録 東京出身
- 矢沢 航さん(デサント)リオ五輪・世界陸上110mH日本代表 神奈川出身
- ト部 蘭さん(積水化学)東京五輪代表・800m1500m日本優勝 東京代表
- 高橋 渚さん(センコー)日本選手権走高跳3連覇中 東京出身
- 伊藤明子さん(セレスポ)日本選手権400mH優勝・七種競技400mH高校優勝 東京出身

NEXT STEP TOKYO

中長期計画(第1次)
2024~2028

Tokyo Athletics Association
公益財団法人 東京陸上競技協会

公益財団法人東京陸上競技協会

危機管理ガイドライン

Tokyo Athletics Association
公益財団法人 東京陸上競技協会

◆日本陸上競技連盟 栄章受章◆

小松邦江さんが功労章を受章されました

井上克己さんと高沼正利さんが秩父宮章を受章されました



功労章とは・・・日本陸上競技界に功績のあった者、毎年3名以内に授与する。
但し、秩父宮章を受章した者であること。

秩父宮章とは・・・本連盟、加盟団体もしくは協力団体に功績があった者、毎年35名以内に授与する。

